

平成26年度 柏崎市特別活動部 活動報告

部長 佐藤 二三子

1 研究活動の方針

- (1) 子どもたちの創意工夫を尊重し、より豊かで創造的な活動ができるような特別活動の実践を積極的に進めていく必要がある。そのため、「一人一人の意見が生かされるように活動の過程を工夫すること」を重視した研修を深め、会員の指導力の向上を図る。
- (2) 小・中学校の連携を図り、具体的な内容の情報交換を行う。

2 研究の実際

- (1) 柏崎市刈羽郡中学校 生徒会交歓会

【内容】 期日:8月8日 会場:柏崎・夢の森公園
「みんなが安心して参加できる話し合いのコツ」を学ぶ
～ファシリテーション・グラフィック～

市内の中学校から生徒会代表が集まり、「生徒会活動を通して理想の学校を作ろう」をテーマに小グループで話し合う活動を参観した。話し合いの内容を“見える化”することで、それぞれの発言内容が整理され、活発に話し合う生徒の姿が見られた。

- (2) 特別活動研修会

【内容】 期日:10月6日 会場:柏崎市立教育センター

柏崎市立教育センターとの共催で、上越教育大学准教授 赤坂真二様を講師にお迎えし、「子どもとの関係づくりに向き合う先生のための学級づくり講座」を実施した。「集団づくりの重要性」と「担任として子どもとの関係づくりを具体的にどう行っていけばいいのか」について研修することができた。

- (3) 柏崎市刈羽郡学校教育研究会指定研究 特別活動研究発表会への参加

【内容】 期日:10月24日 会場:柏崎市立高柳小学校

「考えをもち、思いを伝え合う子どもの育成」～縦割り班による全校話し合い活動の実践を通して～を研究主題として、学級を横糸に全校縦割り班を縦糸にし、話し合い活動を活性化することにより、目指す子どもの姿に迫る実践が発表された。授業は、「感謝の気持ちが伝わる内容を話し合っ決めよう」を議題に、地域の方を招いての収穫祭の内容について縦割り班で話し合う活動であった。議長団への事前指導やホワイトボードの活用、児童の話し合いを修正したり見直したりするための教師の支援により、互いの考えを出し合い熱心に話し合う児童の姿が見られた。

- (4) 新潟県小学校教育研究会指定研究(2年次)

柏崎市刈羽郡学校教育研究会指定研究(2年次)

特別活動 研究中間発表会への参加

【内容】 期日:11月13日 会場:柏崎市立枇杷島小学校

「あたたかい人間関係を共に築こうとする子の育成」～話し合い活動と集団活動の充実を通して～を研究主題として、話し合い活動と集団活動における目指す子どもの姿を明確にした研究の成果が発表された。授業は、2年・3年・6年の学級活動が公開され、各学年「児童の発議を大事にする議題設定での支援」「思いを深めていく構造化した話し合い」「授業展開ごとの評価基準の設定」「話型の指導」により、互いの思いや考えを受け止め、さらに自分の考えを深める子どもの姿が見られた。

3 成果と課題

「生徒会交歓会」では、よりよい人間関係づくりのための方法論や、小・中の9年間を通じた学びの深まりを、実際に生徒の姿を通して研修することができた。また、小学校における特別活動の研究会に参加することで、他校の実践から学ぶ有意義な機会を得ることができた。今後もより多くの部員が参加できるよう、実施時期や研修内容を検討していきたい。